

柏市民全体に今必要な防災訓練と意識

- ◆ シェイクアウト訓練
- ◆ 住民による安否確認
- ◆ 緊急通報訓練
- ◆ 避難移動訓練
- ◆ 避難所での心得



柏市が行う一部地域のみを対象にした総合防災訓練では、到底、大災害から43万市民の命は救えません

シェイクアウト訓練

聴きなれないですが、米国加州で開発された市民参加型災害対策訓練です。私たちも小学校時代に体験されている方が多いと思います。〈次頁図説参照〉具体的な訓練の方法は至ってシンプルで、だれにでも簡単に行動に移せます。災害発生時間を予め定め、地域内でのシェイクアウト訓練実施を目指しましょう。

シェイクアウト訓練を町内でやってみましょう

- ステップ① ○月●日午前▽時に震度6の地震が発生したとの想定で
 - ステップ② まずは安全な場所に身を置く（低姿勢で頭を守る動作をとる）
 - ステップ③ 揺れが収まるのをひたすら待つ
 - ステップ④ 揺れが収まったら火／ガスの元を点検、避難路を確保する
 - ステップ⑤ 自分や家族の安否を確かめ、それを外部の住民に伝える
- とにかく、上記の行程で決して大きなけがを負わないことが大切です。

シェイクアウト（安全行動） 1・2・3

訓練開始の合図が来たら、命を守る **安全行動1-2-3** を

1 姿勢を低くして
(しゃがむ)



2 体や頭を守って
(かくれる)



3 揺れが収まるまで
じっとする (まつ)



それぞれのご家庭、学校、職場で実践しよう！

安否確認（目印ナシ世帯訪問） 訓練と緊急通報

- 目印有り世帯は目視確認のみで、その数の収集は一切不要（全体の世帯数から訪問世帯数の差引きで自動的に算出可能）です
- 目印ナシ世帯を実際に訪問し、応答あり（在宅）、応答ナシ（不在または訳あって応答なし）の数を集計します
- 各世帯の集計結果を集計場所に報告
- 報告結果、特に、**応答ナシの世帯を正確に把握しておきます（住宅地図や会員住民の名簿に記載しておくことをお勧めします）**
- 上記結果「目印有、目印ナシ在宅確認、目印ナシ応答ナシ」の別を、地区災害対策本部に電話以外（無線や実際に本部に自動車以外の手段で駆け付ける）の手段・方法で通報する（災害本番は電話通信は×、路の渋滞で車利用も×）

避難移動訓練

○住民各自で所定の避難所へ移動することが基本ですが、災害本番では避難ルートの安全も保証されていません。是非一時（いつと）避難場所を予め設定し、そこから隊列を組んでの避難移動訓練にも挑戦しましょう

○住民は避難所体育館を目指すのではなく、**先ずは校庭を住民避難場所にしましょう。柏市の指定避難所は体育館でなく校庭です**。体育館等の屋内施設は、在宅避難が困難な世帯の一時滞在先となります（住民に誤った理解がないよう、そのあたりもしっかり住民周知をしましょう）

○Kネット登録者のケアを各地域ではできていますか？　そもそもKネットの制度をご存知でしょうか？　〈第2回会議配付資料参照〉

◇家が損壊し自宅に留まることが難しい場合
どこに避難しますか？家族でそれを確認して
おきましょう（予め市で定めてはいません）

↑各町内の町会・自治会・管理組合（役員や班長）に確認しましょう

◇避難所にはペットの同伴は基本難しいと考
えましょう。柏市はそこまでの配慮は十分に
はされていません

◇各家庭でマイカー & マイテント避難（防災
ネットワーク通信第61号／本会場掲示の⑩を
参照）**を検討**しておきましょう

各避難所での避難訓練（避難所運営）で是非実施していただきたいこと・・・

- ・ **災害本番で実際に学校避難所の運営を行うのは皆さん方住民であること**、決して柏市職員でないことをお知らせ願います

- ・ 避難者受付（来場者の把握）名簿を訓練時に作成する、災害本番では避難者カードの用意をお願いします

- ・ 避難所に行けば配給品があるとの意識は捨てましょう（**自分で備蓄し避難所に持込むことが基本：他所を決して頼り過ぎないこと**）

災害対策は出来るだけ「公助である行政」を頼らない、当てにしないことが肝要です

そのために、日頃から自分たちで何とかすることを念頭に、地域での防災活動を疎かにしないことが本当に重要なのです

もしも困ったこと、不安なことがあれば、風早北部地域ふるさと協議会防犯防災部にお気軽にご相談ください【下記メールまでお寄せください】

boux2@kazakita.org